（変更1回） 契 約 変 更 の 内 容

<table>
<tr><td>契約変更年月日</td><td>令和8年11月17日</td></tr>
<tr><td>契 約 業 者 名</td><td>株式会社ナイカイアーキット</td></tr>
<tr><td>契約業者の住所</td><td>岡山県倉敷市児島駅前1丁目100番地</td></tr>
<tr><td>工 事 の 名 称</td><td>水島港水島地区泊地（-14m）浚渫工事（その３）</td></tr>
<tr><td>工 事 場 所</td><td>岡山県倉敷市水島港水島地区</td></tr>
<tr><td>工 事 種 別</td><td>港湾しゅんせつ等工事</td></tr>
<tr><td>工 事 概 要

（変更した内容）</td><td>
<table>
<tr><th>工種名称</th><th>規格・形状寸法</th><th>単位</th><th>数量</th><th>参考数量</th><th>摘要</th></tr>
<tr><td>泊地（-14m）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>浚渫工</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>グラブ浚渫工</td><td>計画水深-14m
法面勾配：1：3</td><td>m2</td><td>5,700</td><td>純土量 11,169m3</td><td>（暫定水深
(-12.5m)）</td></tr>
<tr><td>土運船運搬工</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>土運船運搬工</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>純土量 12,956m3</td><td></td></tr>
<tr><td>共通仮設</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>回航・えい航</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>事業損失防止施設</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>安全対策</td><td></td><td>式</td><td rowspan="2">}</td><td rowspan="2">原契約のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>水雷・傷害等保険</td><td></td><td>式</td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>工 期 （自）</td><td>令和8年7月17日</td></tr>
<tr><td>工 期 （至）</td><td>令和8年11月18日</td></tr>
<tr><td>変更前の契約金額</td><td>98,670,000 円（税込み）</td></tr>
<tr><td>変 更 金 額</td><td>30,910,000 円（税込み）</td></tr>
<tr><td>変更後の契約金額</td><td>129,580,000 円（税込み）</td></tr>
<tr><td>変 更 理 由</td><td>別紙変更理由書のとおり</td></tr>
</table>

（別紙）

変 更 理 由 書

１．工 事 名　　水島港水島地区泊地（-14m）浚渫工事（その３）

２．工　　期　　令和８年７月１７日～令和８年１１月１８日

３．請負金額　　９８，６７０，０００円

４．変更理由

本工事は水島港水島地区泊地（-14m）の浚渫工及び土運船運搬工を施工するものであるが、今般、以下の理由により設計図書を変更する必要が生じた。

１）共通仮設費：回航費の追加
当局が想定していたグラブ浚渫船 15m3 級が水島港に在港していないことが確認されたため、グラブ浚渫船 15m3 級（基地港：和歌山港）の回航費（往路）を計上する。

２）共通仮設：間接工事費等諸経費動向調査の追加
特記仕様書 7-4-4(1)に基づき、間接工事費等諸経費動向調査の対象工事となったため、調査を追加する。

３）共通仮設費：汚濁防止枠用カーテンの取付にかかる費用
汚濁防止枠用カーテンの取付が必要となったため、カーテンの取付にかかる費用を計上する。

４）浚渫工：事前測量結果に基づく浚渫数量の変更
特記仕様書 7-3(2)に基づき、事前深浅測量の結果を踏まえ、浚渫数量を変更する。

５）共通仮設費：土運船のえい航（復路）の追加
本工事で使用していた土運船について、本工事完了後に使用予定がなく基地港へ帰港することが確認できたため、復路のえい航費を計上する。

６）共通仮設費：汚濁防止枠カーテンの処分
汚濁防止枠用膜の処分が確認できたため、特記仕様書 7-4-2（1）3）に基づき処分費を追加する。

７）その他：諸経費検証モデル工事にかかる費用について
「諸経費検証モデル工事」実施要領に定める全ての評価条件の履行を確認したため、特記仕様書 8-21(5)に基づき、割増を考慮した現場管理費率を適用する。

以上